

NEWS RELEASE (2021年11月26日)

奄美群島に特化した起業家・職業人支援教育プログラム

いよいよ最後！「奄美環境文化」実習 in 徳之島

報道機関 各位

平素より本学の報道に関しては大変お世話になっております。

本学では、奄美群島に在住、もしくは、移住予定の方を対象に「奄美群島に特化した起業家・職業人支援教育プログラム」を令和3年9月より始動しました。現在、奄美群島全域から3つのコース(起業家コース、WEBデザインコース、事業主・行政コース)に62名が学んでいます。

教育プログラムの目的は、世界自然遺産に登録された奄美大島と徳之島の自然の価値だけでなく、奄美の「環境文化」という考え方から奄美群島5島とそのシマ(集落)の地域特性を捉え直し、その価値を生かした新たな仕事を生み出せる起業家・職業人支援を行うことです。総時間数は最大80時間、うち24時間が今回実施する「奄美環境文化実習」です。

実習は、奄美大島(10月9～12日)を皮切りに、沖永良部島(10月23～24日)、喜界島(11月6～7日)、与論島(11月12～14日)の4つの島ですすでに実施済、今回の徳之島が最後の開講となります。実習には、奄美群島全域から32名の社会人が参加し、「山の島」と「台地の島」の異なる特性をもつ二つの集落を訪問し、二つのパネルディスカッションを通して高校生、農業者、漁業者などとも交流します。最後の「まとめワークショップ」では、受講生の2日間の学びの成果を発表します。

ぜひ取材方をお願いいたします。また、取材の際は、新型コロナウイルス感染症予防対策の上ご参加いただきますよう、併せてお願いいたします。

実習期間	令和3年11月27日(土)～11月28日(日)
実習内容	<ul style="list-style-type: none">・島巡検(世界自然遺産エリアの亜熱帯照葉樹林の森と集落の聖地を巡検)・集落散策(「山の島」の母間集落と「台地の島」の兼久集落の自然・地理・文化・歴史)・環境文化体験(夜行貝の細工)・徳之島を語る座談会1(山と海と人と動物の近さが生み出す暮らしの良さと課題)・徳之島を語る座談会2(地域博物館×農業×高校生の闘牛から見える課題と未来)・2日間のまとめのワークショップ ※実習の旅程等の詳細は、別添資料をご確認ください。

なお、当教育プログラムの詳細は、下記のホームページからご確認頂けます。

【HP】 <https://www.life.kagoshima-u.ac.jp/amami/>

【問い合わせ先】 鹿児島大学産学・地域共創センター生涯学習部門

担当教員: 小栗 (oguri@life.kagoshima-u.ac.jp)

担当係: 研究推進部社会連携課 産学・地域連携係 電話: 099-285-7104

